

2014 年 2 月 20 日

第 9 回「児童教育実践についての研究助成事業」助成対象決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第 9 回「児童教育実践についての研究助成事業」の助成対象を決定し、本日発表いたしましたのでお知らせいたします。

■ 当事業の目的

すぐれた教育実践を生み出すためには、そのバックグラウンドとなる研究の深化・拡大が必要です。

この事業は、ことばの教育と児童教育実践の質を向上させる、新しい視点を持つ研究を助成し、その成果が教育の現場に反映され、児童教育の基盤を充実させることを目的としています。

■ 審査結果

審査委員会による厳正な審査の結果、応募総数 100 件のうち、18 件の研究を助成対象として選出しました。

(詳細は「助成対象一覧」をご参照ください)

■ 今後の予定

2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日の 1 年間、研究助成を行います。

終了後、助成対象者には研究成果報告書を提出していただくとともに、研究成果発表会で発表していただきます。また、助成対象者が希望する場合は、継続助成の申請をすることができます。

博報財団(正式名称:公益財団法人博報児童教育振興会)は、1970年に設立された財団法人博報児童教育振興会を母体として公益認定され、2011年4月に公益財団法人としてスタートしました。
次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成」「国際日本研究フェローシップ」「世界の子ども日本語ネットワーク推進」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる4つの事業を行っています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

■ 本件に関するお問い合わせ先:

公益財団法人 博報児童教育振興会
研究助成事業係
TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016
E-mail. hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

第 9 回 児童教育実践についての研究助成事業 助成対象一覧

助成対象研究(代表)者 (五十音順、敬称略)	研究タイトル (※はグループ研究)
池田 瑞穂(いけだ みずほ) 早稲田大学文学学術院 大学院生	文化遺産と社会科授業の質的向上に関する研究 ータイ北部プレー県を事例としてー
伊藤 崇達(いとう たかみち) 京都教育大学教育学部 准教授	小学校教師は子どもの学習規律の内化をいかに促しているか
小山内 秀和(おさない ひでかず) 京都大学大学院教育学研究科 大学院生	物語読解による他者理解能力向上のメカニズムの解明 ※
鬼丸 晴美(おにまる はるみ) 明星学苑 明星中学高等学校 指導教諭	小学校における言語教育活動の活性化 ー英語活動を主眼として活動を進めるー ※
親川 志奈子(おやかわ しなこ) 琉球大学大学院人文社会科学部研究科 大学院生	しまくとぅば学習アプリの開発
鹿島 萌子(かしま もえこ) 立命館大学大学院先端総合学術研究科 大学院生	視覚障がい児童のこぼれ力の向上に向けて ー対話型美術鑑賞方法の援用の実証的研究
工藤 哲夫(くどう てつお) 京都ノートルダム女子大学心理学部 准教授	ファシリテーションを援用した「話し合いの見える化」する学習活動の 実践と理論の研究 ※
後藤 郁子(ごとう いくこ) お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 研究員	学習指導力を養成する教師の探究的学習プログラムの開発と 学校教育への展開 ※
菅井 三実(すがい かずみ) 兵庫教育大学大学院学校教育研究科 准教授	用法依存理論に基づく小学校英語教育の学習モデル構築 ※
高原 真理(たかはら まり) 筑波大学人文社会系 非常勤研究員	コーパスを用いた日本語基本形容詞の類義語研究
種市 摂子(たねいち せつこ) 東京大学大学院教育学研究科 特任助教	児童を対象とした精神保健リテラシー授業の開発と実践
田部 絢子(たべ あやこ) 浪商学園 大阪体育大学健康福祉学部 講師	発達障害児者の「食・食行動」の困難と栄養・健康増進の支援に 関する研究
内藤 千尋(ないとう ちひろ) 東京学芸大学 プロジェクト専門研究員	発達に困難を抱える非行少年の現状と特別支援教育の課題 ー少年院・少年鑑別所の職員調査を通してー
長尾 順子(ながお じゅんこ) 沖縄県教育庁義務教育課 指導主事	論理的思考活動を支える言語力育成について ※
富士原 紀絵(ふじわら きえ) お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科 准教授	学校現場との協働による児童作文指導の基礎的研究 ※
堀 清和(ほり きよかず) 兵庫医科大学公衆衛生学講座 研究員	発達障害を持つ子のための防災教材の開発と指導方法の研究 ※
松井 かおり(まつい かおり) 朝日大学経営学部 講師	海外にルーツがある子ども達のドラマ活動の意義と可能性: 岐阜県可児市の多文化共生プロジェクトの事例から
宮本 昌子(みやもと しょうこ) 目白大学保健医療学部 准教授	発達障害のある児童を対象としたイベント企画・体験型キャリア教育 プログラムの開発

〈所属・職名は助成決定時のもの〉